

地すべりの対策方針が決定

～久慈北道路 宇津目地区地すべり検討委員会 検討結果～

平成29年3月22日(水)に開催した三陸沿岸道路久慈北道路の「宇津目地区地すべり検討委員会」において、地すべり解析結果や対策案について議論し、以下のとおり方針をとりまとめましたのでお知らせいたします。

■主な議論内容

○地すべり構造について

- ・降雨による地下水上昇と、脆弱な層(粘土質等)の存在が地すべり運動の主な要因(潜在的な要因)
- ・過去2回の大雨が主な発生要因で、2つの地すべりブロックが滑動
- ・更に、H28. 8の台風10号により、地すべり活動が活発化

○今後の対策方針について

- ・地すべり運動の停止・緩和が期待される「おさえもりどころ押え盛土工」、はいどころ「排土工」を基本とした対策が妥当

※「押え盛土工」：地すべり土塊の末端部に盛土を行い、地すべり滑動力への抵抗力を増加。

※「排土工」：地すべり土塊の頭部の荷重を除去し、地すべり滑動力を低減。

○対策内容 ※詳細は別添参照

- ・おさえもりどころ押え盛土工
- ・はいどころ排土工
- ・横ボーリング工(地下水排除)

※今回の結果を踏まえ、速やかに工事工程の見直しを行い、開通時期についても引き続き精査して参ります。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

問い合わせ先

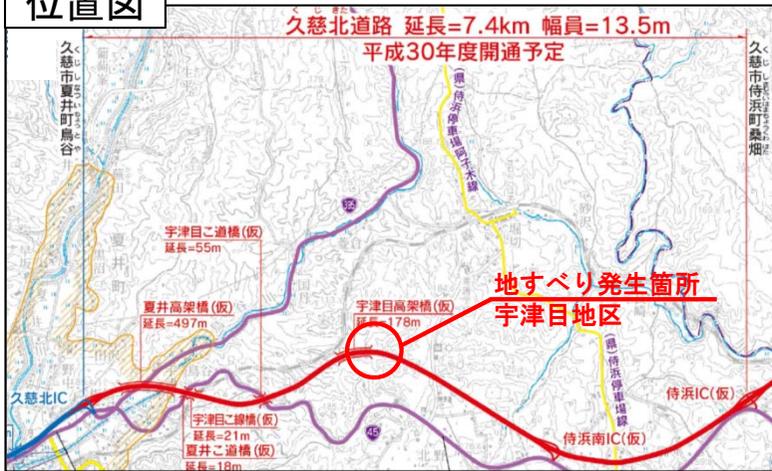
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 TEL 0193-62-1711(代表)

副所長(改築) ひらおか平岡 ひろし弘志 (内線204)

(復興道路 三陸沿岸道路については、で検索できます。)

「宇津目地区地すべり検討委員会」による対策方針

位置図



【地すべり対策概要図】

平面図

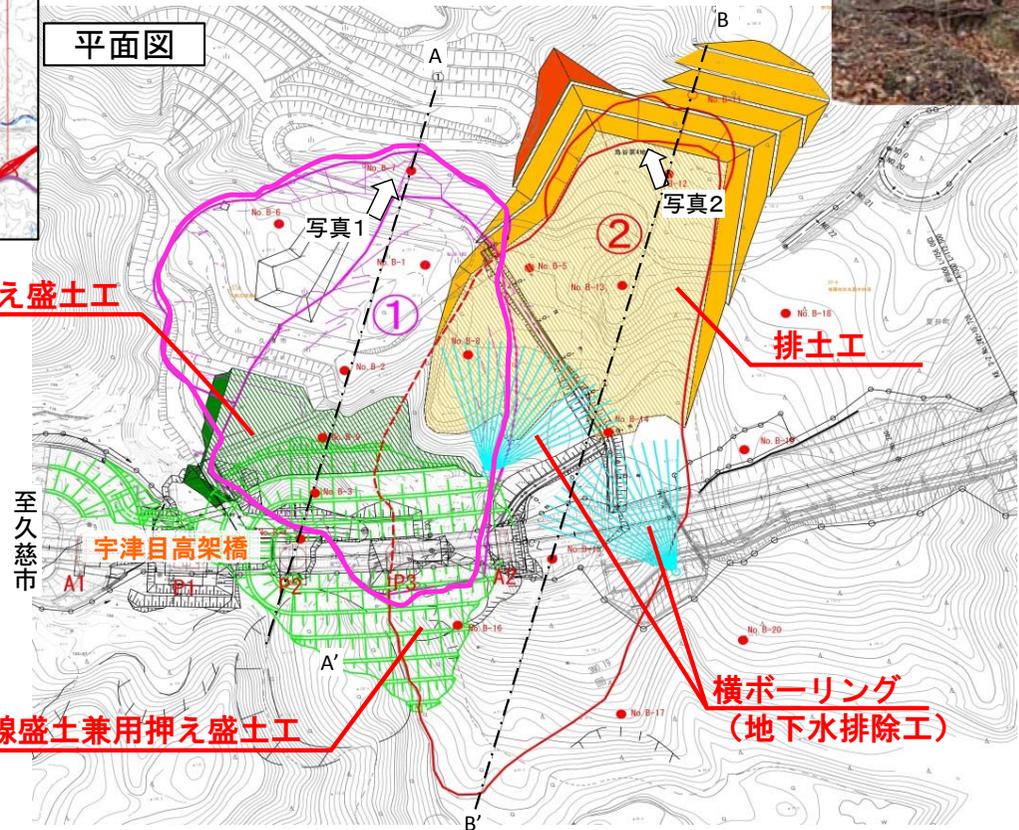


写真2

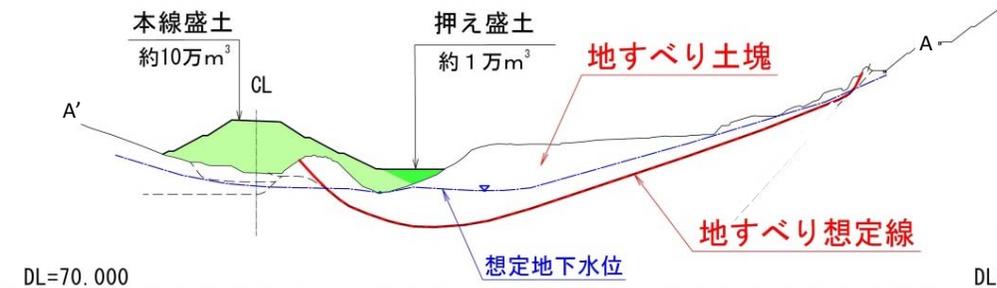


写真1



断面図(①ブロック)

本線盛土兼用押え盛土+押え盛土



断面図(②ブロック)

排土工+横ボーリング(地下水排除工)

